

〔発行〕 会 長 榎本 房雄
〔編集〕 広 報 部 長 土屋 功
〒337-0053
さいたま市見沼区大和田町1-1387-1
電話・FAX 048-687-7935

えが お

平成十九年度 定期総会開催される (五月十九日・当事務所)

第三回大砂土東地区社会福祉協議会総会が開催されました。総会は、議長に榎本房雄さん(同会長)を選任し、平成十八年度事業報告・決算報告及び、同十九年度事業計画・予算案並びに役員改選について原案通り承認されました。

ご挨拶



大砂土東地区社会福祉協議会
会長 榎本 房雄

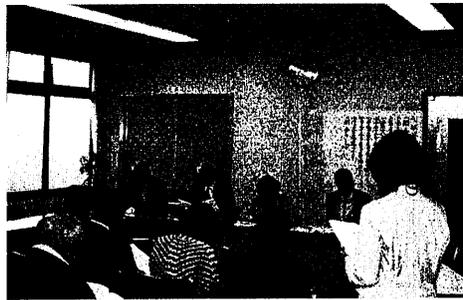
連日猛暑が続いています。地区の皆様お元気ですか。大砂土東地区社会福祉協議会については日頃からご支援ご協力いただき、誠に有難うございます。お陰をもちまして地区社会福祉協議会の平成十八年度事業については、ボランティア・民生児童委員の方々の協力を得て、計画の通り実施することができました。平成十九年度につきましても、更に事業の充実を図るべく、「和い話しサロン」「いきいきサロン」の立ち上げ・他の団体との共催事業などを推進して参ります。

現在の世相はどうなっているのでしょうか。家庭内の暴力犯罪、将来的にある青少年の自殺行為などに余るものがあります。家庭内での親子

兄弟のふれあいや会話の欠如がこのような事になっていくのではないのでしょうか。このような事からも「世代間交流事業」を推進する必要があるでしょう。どうぞ今後とも地区社協にご支援ご協力くださるよう宜しくお願い致します。



総会 風景



総務部

部長 江島 藤雄

去る五月十九日、大砂土東地区社会福祉協議会第三回定期総会が開催され、平成十九年度の事業計画及び予算案が承認されました。地区社協が開設されてから二年間、地域における福祉のあり方と言う物の知識が乏しく、体験そのものが勉強になりました。少しは分かってきました。二年の役員任期も終り、新たに総務部長の役を命ぜられました。責任を感じながら十九年度に向けて、地域の皆様に喜んでいただけるよう、サロン活動を中心に事業の展開を進めていきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。

事業部

部長 野崎 宏昭

今年度の事業は、四月から車椅子の貸出しを実施することから始まりました。五月からは高齢者を対象にしたいいきいきサロンが二ヶ所です。参加した方々が、自分たちのやりたいことを実現できるサロンを目指します。もうひとつは「いきいきサロン」を中心にして、地域の高齢者の交流をはかります。大砂土東公民館との共催事業として十月に「大人の塗り絵教室」、そして十一月に団塊世代の男性をターゲットにした「そは打ち教室」の開催を予定しています。

広報部

部長 土屋 功

広報部会担当として、当地区での福祉行動計画に基づく推進状況をできるだけきめ細かく広報してまいります。従来「協議会だより」を二回発行(全戸配布)してまいりましたが、加えて臨時号として「社協ニュース」を二回発行(回覧形式)してまいります。このことで、当地区で見聞きできないような、厳選した新旧のイベントなどを発信できるような息吹を発見できればと、地域の皆様と共に広報部は願っております。いずれにいたしましても、地域の皆様のお声をお聞かせいただき、情報を共に共有できますことがなにより肝要と思えます。

なお、前号の通りでもお知らせいたしました。車椅子の貸し出し事業も行っております。緊急時に必要になりましたら、当事務局に相談の上ご利用下さるようお知らせします。



地域の福祉活動推進の中心となり、今後とも地域の皆様の要望に敏感に対応できる事業計画をすすめて参ります。ぜひご要望をお寄せ下さい。

* 追伸 大砂土東地区社会福祉協議会だより、並びに社協ニュースのサブタイトルを「えがお」とさせていただきます。ご了承下さい。

平成19年度事業計画

地域福祉事業の推進

1. 車椅子貸出し事業開始 4月～
2. 大和田サロンの開設 5月～
砂団地サロンの開設 6月～
大和田町・砂団地にお住まいの高齢者を対象にサロンを月1度開催し、高齢者の交流、憩いの場とし、閉じこもり予防をはかる。
3. 各種団体との共催事業の推進 5月～
大砂土東公民館、地域包括センター大和田、青少年育成、市社協ボランティアセンター等と共催で介護などの福祉講座、ボランティアの育成、世代間交流事業企画などを立案実施する。
4. 防災防犯上からも単身高齢者マップの必要性を認識して検討を始める。あわせて、地域見守りネットワークづくりも検討する。 5月～
準備委員会を設置して具体的な行動に向けて動き出す。
5. 東大宮地域で子育て相談会など、子育てサロンの開催を検討する。 5月～
大和田地区(旧出張所跡)に開設された子育て支援サロンの「さいのこ」に対して砂団地などを抱える見沼地区地域にも子育てサロンの必要性を感じる。開催の検討を始める。
6. 広報紙の発行 適宜
二回全戸配布 臨時号については回覧
「大砂土東地区社会福祉協議会だより」に加え【社協ニュース】臨時号の発行を検討し、よりタイムリーに地域福祉情報が共有出来る体制にする。
7. 会費サービスの充実 8月
「つくしの会」「アップルの会」のボランティア交流会を開く。
研修、意見交換などの機会を作る。

募金活動の推進

- 赤十字募金 5月
- さいたま市社会福祉協議会賛助会費 7月
- 赤い羽根共同募金/街頭募金の実施 10月
- 歳末助け合い募金 11月

いいききサロン
砂団地を開催



いいききサロン砂団地

毎月第三金曜日
午前十時半〜午後二時半
団地内：第二集会所
◇問合せ◇
代表者：中川春枝
電話：六六三一九〇二六

去る五月十九日午後一時から第一回『いいききサロン砂団地』が第二集会所で開かれました。開催にあたり、寿会々々長、中川さんの御尽力のもと、地域の方から賛同の声があがり約半年の準備期間を経て記念すべき第一回『大人のぬり絵教室』が参加者十八名で、皆さん談話を交えながら和やかな雰囲気の中で、楽しいひとときを過ごすことができました。代表の中川さんは「皆さんが気軽に来られて楽しく集える交流の場ができ、又、地域全体の活性化に繋がればとの思いで、色々工夫を加えながら皆様と頑張ります」とお話しして下さいました。

ふれあい大和田
和い話しサロン開催



ふれあい大和田『和い話しサロン』

代表者 岡地つや子
『ふれあい大和田和い話しサロン』は毎月第一火曜日、開催しています。五月は、自己紹介から始まり色々話題が多く、温かいお茶とお菓子を食べての談話。時間を二十分延長して、折り紙で爪楊枝入れを二点ほど作りました。六月は益々輪を広げて、お互いに楽しく語り合え、暖かい雰囲気終了しました。七月・八月は益踊りの練習です。又、包括支援センターからのご協力も頂き、血圧測定を行っています。気楽に健康相談に乗って下さっています。これから一人でも多くの友達ができ、和気あいあいなことでお互いに交流を深め、色々な情報交換、又、趣味、おしゃべりを通して、交流の場を作り、明るく楽しく一人一人が主になって、サロン活動していく会にいたします。問合せは当事務所まで。

代表者 岡地つや子
『ふれあい大和田和い話しサロン』は毎月第一火曜日、開催しています。五月は、自己紹介から始まり色々話題が多く、温かいお茶とお菓子を食べての談話。時間を二十分延長して、折り紙で爪楊枝入れを二点ほど作りました。六月は益々輪を広げて、お互いに楽しく語り合え、暖かい雰囲気終了しました。七月・八月は益踊りの練習です。又、包括支援センターからのご協力も頂き、血圧測定を行っています。気楽に健康相談に乗って下さっています。これから一人でも多くの友達ができ、和気あいあいなことでお互いに交流を深め、色々な情報交換、又、趣味、おしゃべりを通して、交流の場を作り、明るく楽しく一人一人が主になって、サロン活動していく会にいたします。問合せは当事務所まで。

70歳以上の単身高齢者を対象にした
ふれあい会食サービスを実施しております

アップルの会 (東大宮コミセン 毎月第4火曜日)		つくしの会 (大砂土東公民館 毎月第3月曜日)	
日	程	日	程
9月25日	1月22日	9月10日	1月21日
10月23日	2月26日	10月15日	2月18日
11月27日	3月25日	11月19日	3月17日
12月25日		12月17日	

詳しくは担当民生委員又は当事務所まで

車椅子を貸出します
介助式二台、自走式一台の計三台あります。軽量なため、利用者の方から大変好評です。
*貸出期間は最長一ヶ月間
*無料で貸出し
利用希望者は当事務所まで。
住 所：見沼区大和田町 一の一三八七の一
活動日：月曜日〜金曜日
活動時間：午前十時〜午後四時
電 話：(六八七)七九三五

つくしの会では
ボランティアを募集しています。
活動日 第一・第三月曜日
活動場所 大砂土東公民館
問合せは当事務所まで
六八七一九三五まで

民生・児童委員です

「民生委員・児童委員」は、「民生委員法」及び「児童福祉法」に定められ、厚生労働大臣に委嘱された地域の奉仕者で任期は三年です。
大砂土東地区では46名(大和田地区13名・堀崎地区6名・島町地区4名・東大宮地区20名及び主任児童委員3名)が各担当地区を掌握し受け持ち常に住民の立場に立ち、担当地区内のボランティアとして個人に人格を尊重し、その個人に関するプライバシーを守りながら、活動を行っています。
主な自主活動といたしましては、地域住民の生活状態の把握のほか、心配ごと相談、児童福祉の向上等、それぞれの地域住民の実情に応じた活動を行っています。
協力活動といたしましては生活保護、児童、母子、単身高齢者、高齢者世帯等の福祉に対する相談指導を行っています。
今後とも、誠意をもって関係行政機関、福祉施設、各種団体等と地域住民の間をつなぐパイプの役割を努めてまいります。
なお、平成十九年十二月一日には、三年ごとの一斉改選が行われます。

「えがおトキメキ
みんなの願い」

ガリ才爺さんのニ科学



固有振動数

あらゆる物には固有の振動数(単位時間に振れる回数)というものがあって、その振動数が揺すられるその物は強く反応して激しく揺れますが(共振)と言います。固有振動数から大きく離れた力を加えてもほとんど反応しません。たとえば、自然に振らせたときに二秒で一往復するようなブランコの場合、二秒に一回の速さで押せば揺れはどんどん大きくなりますが、一秒に二回の速さで押しても少しも揺れてくれないのと同じことです。
建物の場合、低くてがっちりした構造のものは固有振動数が大きく、速い振動(たとえば一秒間に五回といった)に共振し、いわゆる「柔構造」の高層ビルなどは固有振動数が小さく(たとえば三秒に一回というような)、ゆっくりした揺れに大きく反応するという一般的な傾向があります。それは主として建物の高さや重さ(単位床面積あたり)によって異なる値になります。
このことは地震の際の建物の被害の起きやすさの違いに大きく関係しています。これについては紙面の都合上、次号で解説することにいたします。

次の方から、ご寄付・ご寄贈をいただきました。
地域福祉事業に使わせていただいております。
○大砂土東公民館さんより
バザー収益金として
九万五千八十七円
日本茶・コーヒー
○永野一江さんより
日本茶
○民生委員の立岡さんより
うちわ・タオル
ありがとうございました。

◆問合せ◇
大砂土東地区社会福祉協議会
電話 六八七一九三五
※駐車場がありませんので、車での来場はご遠慮下さい。
♡♡♡編集後記♡♡♡
広報部長等の退出など異動があり、いまだ全体の広報の流れが掌握できず、手探りの状況ではありますけれども、五名の部員と共に、前任者がまいた種(広報紙)をしっかりと育て、美しい花が咲くよう努力してまいりますので、よろしくご理解ご協力をお願いいたします。
(広報部一同)